商学部・経営管理研究科 経営管理専攻 修士課程経営学修士コース 経営分析プログラム
「学部・修士５年一貫教育プログラム」について

2026.11.11

１．趣旨

一橋大学大学院経営管理研究科は４年間の商学部教育を十分に理解・吸収してきた人材に対して、さらに専門性の高い知識を修得させ、より深い思考力を発展させるための教育を提供してきた。より具体的には、(1)高度専門職業人として実践の世界で活躍する人々を対象とした経営学修士コースと、(2)高度な研究と教育の職業に携わる人々を対象とした研究者養成コースという２つのコースによって、高度の専門知識の修得と深い思考力の養成を本研究科は促進してきた。知識社会化の進展が進む現代において、今後とも高度の専門知識と深い思考力を併せ持つ人材の必要性は高まる一方であり、この２つのコースが社会において果たす役割はますます重要になっていくものと思われる。

このような高度な専門知識と深い思考力を育成する大学院教育を展開していく上で、学部４年間との連携を更に高め、高度の一貫性をもった教育プログラムを推進することが重要な課題であるという認識の下に、2000 年度に経営学修士コースに「学部・修士５年一貫教育プログラム」を創始した。新しいカリキュラムのフレームワークの中で、これまでの学部４年間の教育を再検討し、有効に活用することによって、また学部教育と大学院（修士課程）の一貫教育の中で大学院教育を前倒しすることによって、１年間の修士課程と合わせた学部・修士５年一貫教育を実現しており、異なるキャリア期待を持つ人々に、それぞれにより適合した高度な専門知識の修得と深い思考力の養成を短期間で可能とするものである。さらに、2018 年度からは、経営管理研究科への改組を契機に、グローバル・コミュニケーション能力の強化を狙いとして「学部・修士５年一貫教育プログラム」もカリキュラム改革を行い、英語講義を集中的に受講することで、国境を越えて活躍するために必要なコミュニケーション能力を付け、修了後にグローバルに活躍するための基盤を構築する。

２．概要

- ●学部生の成績優秀者から本プログラムによる修士課程進学者（１学年 10 名程度）が選考され、基本的に学部４年＋修士課程１年の計５年間で学士と修士の両方の学位を取得することができる。なお、修士課程においては、経営学修士コース経営分析プログラムで提供されている授業科目と演習を中心に履修する。
- ●基本的に学部４年間において、学部卒業のための単位数を修得し、かつ、学士論文試験に合格する等の学部卒業の要件を満たすことによって、「学士(商学)」の学位を取得する。
- ●学部４年次において、修士課程経営学修士コース経営分析プログラムの授業科目及び導入ワークショップ、基礎ワークショップを履修することができ、その内の 16 単位までは修士課程の修了要件の単位数に換算することができる。
- ●学部４年次と修士課程１年次において、修了のための単位数を修得し、かつ、ワークショップ・レポートの審査に合格する等の修士課程の修了要件を満たすことによって、「修士(経営)」の学位を取得する。

３．定員と対象者

- ●定員は、１学年 10 名程度とする。
- ●商学部（経営管理研究科）の学部・修士５年一貫教育であることから、商学部の学生を対象とする。但し、他学部の学生であっても、３年次までに商学部教育科目の単位を優秀な成績で修得している者は、対象とする。

４．選考方法

●経営学修士コース経営分析プログラムの授業科目を履修する資格をもつ学部生を選考する履修資格者選考と、修士課程進学者を選考する修士課程進学者選考に分けて、二段階選考とする。

●履修資格者選考は、卒業見込前年度の２月に行う（基本３年次)。修士課程進学者選考は修士課程入学試験と同じ時期（４年次９月）に行う。

●履修資格者選考は、３年次夏学期までの成績（商学部教育科目を重視)、ゼミ指導教員等の推薦及び口述試験による。なお、成績については、３年次夏学期までに履修した商学部教育科目の総合成績が商学部の上位 30%に入っていると、経営管理研究科・商学部教授会が判断できることを要件とする（詳細は授業履修資格者出願要項を参照すること。)。なお、他学部の学生については、各学部の履修上の制約を考慮する。

●修士課程進学者選考【経営管理研究科修士課程（経営学修士コース 経営分析プログラム）入学試験】は、口述試験による。詳細は、来年度大学院入試募集要項の公開時に通知する。

５．履修

●学部１年次から４年次にかけて学部卒業の要件（詳細は学士課程ガイドブック等で確認すること）を満たすように履修する。

●学部４年次に修士課程の授業科目及び導入ワークショップ、基礎ワークショップ、English Communication を履修することができ、その内の 16 単位までは修士課程における修了要件の単位数に換算する。

●学部４年次に履修した修士課程の授業科目の単位を加算した上で、修士１年次に修士課程修了の要件を満たすように履修する。

●学部４年次にコア科目（12 単位以上（特に必修科目 8 単位と配当年次が 1 年次の科目))と導入ワークショップ、基礎ワークショップ（2 単位)、English Communication（2 単位）を履修することを強く薦める。16 単位を超える科目の単位を修士課程における修了要件として修得するためには、修士１年次に再度同じ科目を履修登録する必要がある。

学部・修士５年一貫教育プログラム(経営管理専攻 経営学修士コース 経営分析プログラム)の概念図

学部１年次	学部講義（基礎科目）＋導入ゼミ
学部２年次	学部講義(発展科目(標準科目))＋前期ゼミ
学部３年次	学部講義（発展科目）＋学部ゼミ
	履修資格者選考（２月）
学部４年次	学部講義（発展科目）＋学部ゼミ＋学士論文
	経営学修士コース（経営分析プログラム）講義（コア科目）＋導入ワークショップ、基礎ワークショップ
	進学者選考（９月）
修士１年次	経営学修士コース（経営分析プログラム）講義（コア科目・選択科目）＋ワークショップ＋ワークショップ・レポート